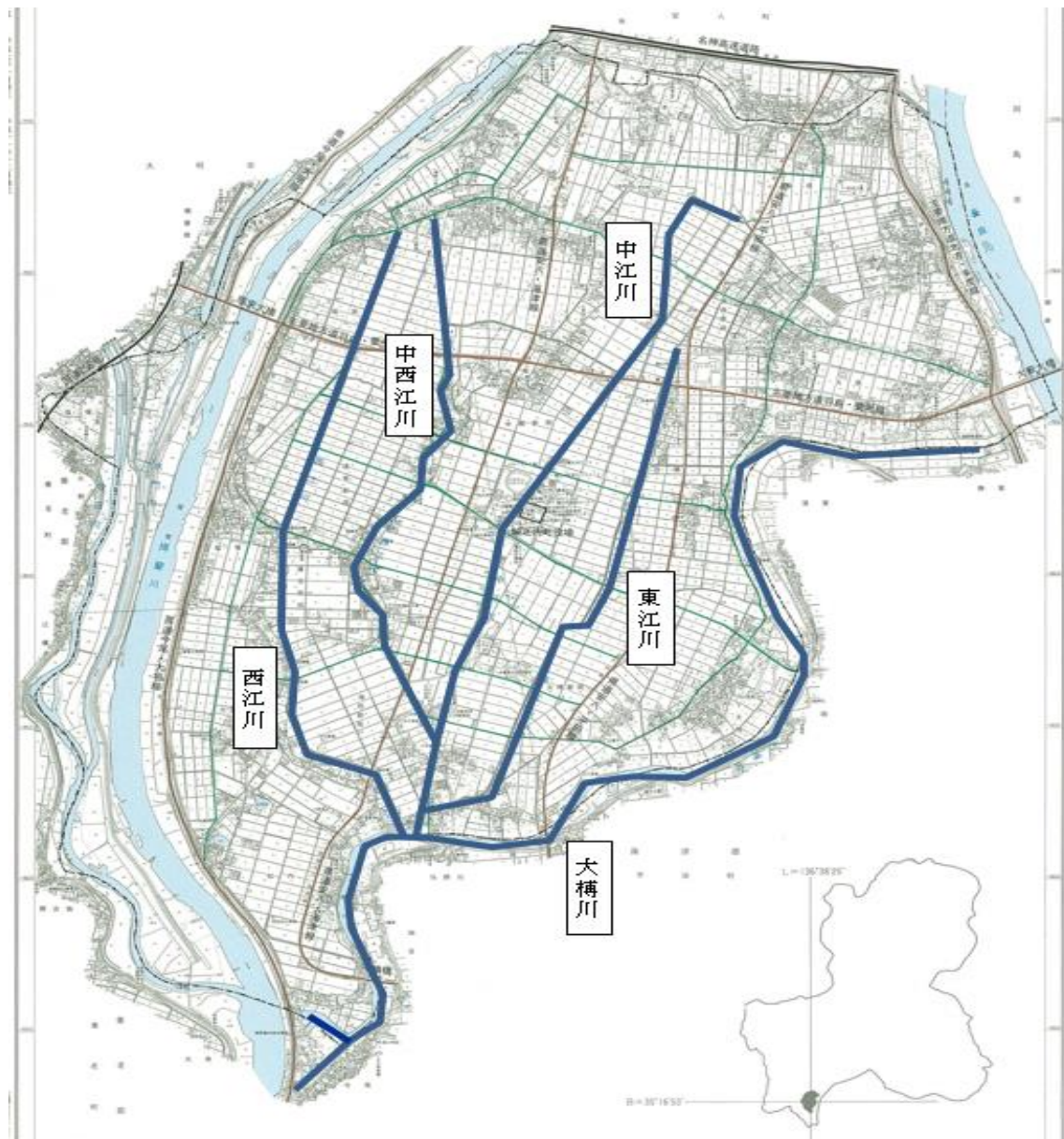


令和5年度 重点モデル区域候補地 【輪之内町】

1 設定区域

輪之内町下大樽～同町海松新田地内



2 重点モデル区域の概要

- 区域内にある大樽川は、輪之内町と海津市の境をなしており、町内の河川のすべてが注ぎ込む河川です。
- 大樽川及び沿川は河川や水生生物など子どもたちの環境学習の場や釣りなどで利用されるほか、春には海津市側堤防にある桜並木を見に来る来町者も多い場所です。

3 目標

- 河川等その周辺での散乱ごみ抑制対策を推進し、誰もが気持ちよく利用できる河川環境を保全、維持します。

4 取組の方向性

- 現在、シルバー人材センターに委託して河川を含む町内の巡回及び清掃活動を実施するとともに、地域団体が町民や町内企業と共に清掃活動を年2回実施しています。
- しかしながら、釣りやレジャーのごみや、沿川から流れてきたと考えられる生活ごみが散見され、現状の清掃活動だけでは対応できていない部分があり、海洋ごみ発生抑制についての活動も必要と考えています。
- 町からの海洋ごみ発生を抑制するためにも、継続的に巡回、清掃活動を実施するとともに、地域住民や河川利用者への海洋ごみ発生抑制の啓発を推進します。

5 事業推進体制

- 以下の関係機関を構成員とする既存の「廃棄物減量等推進審議会」を活用し、海洋ごみ発生抑制対策を推進します。
 - ・住民
 - ・学識経験者
 - ・各種団体の関係者
 - ・資源回収業者